



みどりの 女神が行く!

ミス日本みどりの女神
こばやし ゆうき
小林 優希

11月上旬、私は2017ミス日本みどりの女神の野中葵さんと福島県の浪江町を訪れました。第4回ふくしま植樹祭「ABMOR」に参加するためです。「未来へつなぐ森林づくり」をテーマに開催された今回の植樹祭には、約千名の方が浪江町請戸地内に集まりました。

植樹祭に参加して 森林の重要性を再認識

式典では、福島県の内堀知事や当イベントに尽力されている歌舞伎役者の市川海老蔵さんからメッセージをいただいたほか、

会場には木の香りからオリジナルアルコールスプレーを製作するブース、薪割り体験できるブースなどが設置され、参加された方々がより木に親しみを感じられるように沢山の工夫がされていました。

メインイベントである植樹では、東日本大震災を受けて作られた大きな防波堤の近くに、海岸防災林として8万本を植樹しました。浪江町請戸地内は10年前、津波の影響を最も受けた地域の一つです。植樹場所の近くには、被災した請戸小学校が遺構として残されています。

海岸防災林には津波から街を、土地を、人々を守る役割があります。防波堤を乗り



▲2017ミス日本みどりの女神 野中葵さんと第4回ふくしま植樹祭にて

越えて街に入ってくる津波の勢いを弱め、車や建物などが海に流れ出てしまつたのを堰き止める効果があるのです。

街を襲った大海原を目の前にした私は、森林が生活にもたらす恩恵を理解するとともに、恩恵を受けるために豊かな森林を作っていく意識を持たなければならないと改めて思うと同時に、そうしたことを経後も広めていきたいと強く感じました。

数多くのイベントに参加し、 理解を深めることができた11月

豊かな森林づくりに取り組んでいるのは、福島県だけではなく。11月中旬には大分県で、2022年に開催予定の第45回全国育樹祭のプレイイベントが開かれました。私は特別ゲストとして参加させていただきました。私は現地の緑の少年団と共に豊後大野の山に植樹をしました。子供たちが緑と触れ合っている時の楽しそうな笑顔が、とても印象的でした。

また、来年の全国育樹祭に向けて「木とつながるプロジェクト」という企画も進んでいます。これは、森林を守るための意識込みや森林への感謝の気持ち、大分県産の杉で出来た木製の葉のプレートに書き込み、大きな木のように飾ろうというものです。大分県民ではありませんが、私も特別に



▲大分県で来年開催される第45回全国育樹祭のプレイイベント

参加させてもらい「森の大切さを伝えていきます」と約束しました。

11月にはこの他にも、プロの大工さんが参加された「CIT建築物の大工技能者等の担い手育成講習」や、神奈川県緑化運動・育樹運動コンファレンスの表彰式に参加しました。また山形県では、古村県知事自らが推奨されている「やまがた森林ノミクス」の県民ミーティングに司会として参加するなど、各県の森林づくり運動への理解を深めることができた一ヶ月となりました。

任期終了まで残りわずかですが、最後まで、そして任期以降も日本の森林の豊かさ、大切さを発信してまいります！